



# ガタリンピック鳥屋野潟の夢語り

## 12.5 水辺シンポジウム in 駅前ガレツソホール

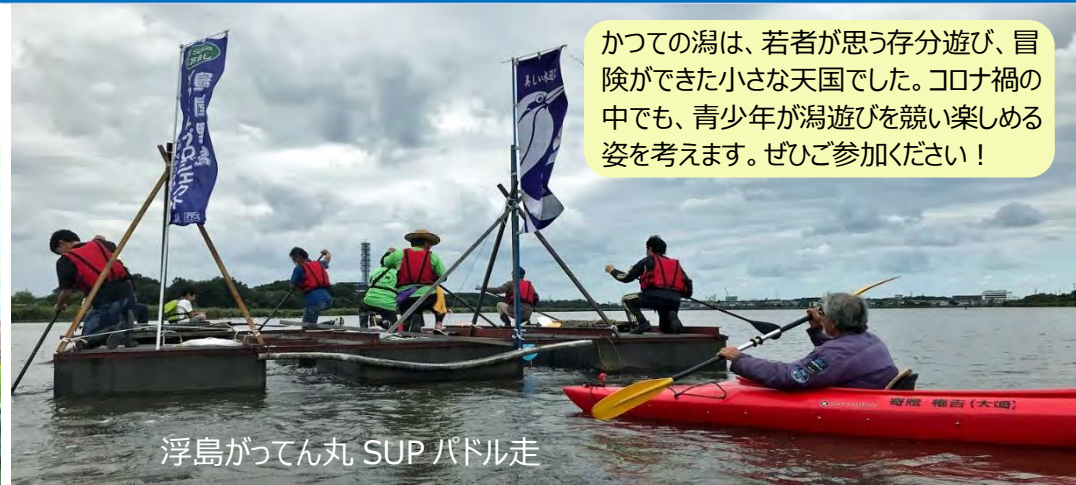
主催：特定非営利活動法人新潟水辺の会

参加費  
無料



C.W.ニコルさんは、いつも次世代の若者に情熱を注いでいた。やっと掘り上げた佐潟のハス根

1997年9月佐潟で撮影



浮島がってん丸 SUP バトル走

かつての潟は、若者が思う存分遊び、冒険ができた小さな天国でした。コロナ禍の中でも、青少年が潟遊びを競い楽しめる姿を考えます。ぜひご参加ください！



対岸と通話するエンジンメガホン



対岸まで張ったロープで渡る竹筏

## 若者がワクワクする水辺遊・学を考えよう！！

- **元顧問 C.W.ニコルさんを偲ぶ**：大熊 孝（新潟水辺の会顧問・前代表）
- **水辺の活動報告**：信濃川鮭遡上2020報告／産業筏の終焉の通船川 加藤 功（新潟水辺の会副代表）  
：カワセミ橋が見える川まちづくり報告 山岸 俊男（新潟水辺の会副代表）
- **子どもたちが遊び競い学べる潟の可能性をさぐる。**
  - 問題提起 「鳥屋野潟がってんプロジェクトの先に見たい景色」：相楽 治（新潟水辺の会代表）  
※鳥屋野潟がってんプロジェクト 2020(空芯菜水耕栽培／防災環境舟運体験会／がってん丸人力走)
  - コーディネーター：上杉 知之（新潟水辺の会世話人）
  - パネリスト：牛腸 昌克（新潟市立上所小学校教諭）／大野 彦栄（中央区清五郎自治会会長・鳥屋野潟漁協）  
澁谷 毅（新潟市立万代高校端艇部監督）／内藤 敬三（TOTO(株)信越支社・TOTO 水環境基金担当）  
和田 大（新潟県新潟地域振興局地域整備部長）
  - アドバイザー：土方 幹夫（駿河台大学名誉教授・日本海 1000km カヌー横断航海 PJ 主宰）
  - 講評：大熊 孝（新潟大学名誉教授・元新潟市潟環境研究所長）

日時：2020年12月5日（土）14：00～16：30

会場：コープシティ花園 4F ガレツソホール(新潟駅前ビル)

定員：60人（申込みはHPでお願いします）

<http://niigata-mizubenokai.org/>

問合せ：特定非営利活動法人新潟水辺の会

info@niigata-mizubenokai.org

Phone 025-264-3191



申込サイト

コープシティ花園ガレツソホール案内図  
〒950-0086 新潟市中央区花園1丁目2番2号  
コープシティ花園[ガレツ]TEL：025-248-7511



この事業はTOTO水環境基金、(公財)山口育英奨学会、(一財)新潟県建設技術センターの助成事業、(株)ゆうちょ銀行「ゆうちょエコ・コミュニケーション」の寄付金で実施しています。